

評価分類 (2) 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる。		A
<p>① 「川崎市総合計画」や、「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」「川崎市子ども・子育て支援事業計画（子どもの未来応援プラン）」に基づき、園では中・長期的な観点で運営を行っています。同時に単年度ごとの園独自の運営方針を策定しています。園独自の中・長期的な計画としてあげるものは、保育・子育て総合支援センターの開設に向けての計画を日常的業務に反映させたものです。センター園の機能を果たすために、仮設園舎、新園舎建設に向けて保育内容を検討し、作成しています。</p> <p>② 全体的な計画、指導計画、行事計画、食育計画、保健計画などの事業計画は、保育理念、保育方針、保育目標の実現にむけて策定しています。行事計画などの改善見直しの際には中・長期継続可能な事業計画を策定しています。</p> <p>③ 事業計画（全体的な計画、行事計画など）は、前年度の反省を踏まえ、乳児・幼児原案を作成し職員会議で討議検討し作成しています。指導計画は全体的な計画に基づき職員会議ですり合わせ、クラス担当者が作成しています。</p> <p>④ 年間指導計画、月間指導計画、職務分担表、行事予定については、職員会議で確認し 共通認識を図り配布しています。行事計画は、子ども、保護者、地域を加味して作成し、地域に根差した保育園を目指し、在園児が地域の方と楽しく遊べる園庭開放や子育て講座なども盛り込み作成しています。</p> <p>⑤ 保護者には、年度初めの保育内容説明会、クラス懇談会で説明し周知を図っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画が策定されている。	○
②	中・長期計画を踏まえた年度単位の事業計画が策定されている。	○
③	事業計画の策定が組織的に行われている。	○
④	事業計画が職員に周知されている。	○
⑤	事業計画が保護者等に周知されている。	○

評価分類		A
(3) 管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている。		
<p>① 園長は年度当初の会議で運営方針を明確にし、職務体制、業務分担表を作成配布し、各職種の業務内容、係分担、行事分担等を明確にし、サービスの向上に努めています。</p> <p>② 園長は、園長補佐と共に園運営及び職員の健康を管理し、職員会議等を通じて職場のチーム力を高め指導力を発揮しています。個々の意向に反映させた研修計画を策定し、成果に対して助言をしています。川崎市人事評価の年間3回の職員の面談の中で、直接会うことを重視し、一人ひとりの役割を明確にして助言を行っています。外部の研修を受けた職員の受講後は報告を職員会議で行い、全体で共有を図り質の向上に役立てています。</p> <p>③ 例えば、職員配置について、基準を遵守し、子どもの人数に見合った職員や環境整備についてまとめる等の役割分担を明確にし、クラス担当、日常の業務、行事、事務保障全般についてスケジュールを組んでいます。職員に周知、共有し、計画的に取り組む等、業務の効率化に努めています。また、園内の業務の標準化に取り組み、中原保育園マニュアルを担当職員が中心となり、見直しや差し替えを行っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○
②	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	○
③	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	○

評価分類		A
(4) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
<p>① 定期的な会議や川崎市の人事評価、行事後のアンケートを実施することにより組織的に保育の質の維持向上を目指しています。また、内容は集計・分析し、課題を抽出し改善策などを検討しています。また、第三者評価は平成23年度に受審しています。</p> <p>② 分析の結果や課題を抽出し今後の対応について職員間で相談、検討し、確認しています。提案などは次年度の事業計画（全体的な計画、指導計画など）に反映させ、活かすようにしています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	○

評価分類 (5) 経営環境の変化等に適切に対応している。		A
<p>① 川崎市および中原区の状況について、保育総合支援担当と協応し、民間園の実情を知ることができる公私立認可園長会議や幼保小連携会議など各種の連携会議に参加し情報収集し、課題を把握し運営に役立てています。</p> <p>② 新たな公営保育所の取り組みの機能強化として、センター園の打ち合わせを定例化し、具体的な取り組みについて職員で検討を重ねています。公営保育園が担うべき機能の一つとして、地域の子育て家庭へのニーズにあったサービスの提供（毎日の園庭開放・子育て講座など）民営保育園との連携、職員の保育の質の維持向上と課題を見つけつつ改善を行っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	○

<組織マネジメントに関する項目>

共通評価領域 6 地域との交流・連携
<p>■地域社会に開かれた園として情報を開示しています。</p> <p>園独自の地域に向けた情報は掲示版と園の入り口に設置しています。また、ホームページやアプリにも掲載し利用者が情報を得やすくしています。新しいタワーマンションが多く、転入人口が多い地域にあり、子育て情報誌にも川崎市や中原区の子育てに関する情報を掲載し発信しています。園で行うハイハイ広場（おおむね1歳まで）ニコニコ広場（1歳以上）の開催、ベビーミミケロ（0歳児）、毎日の園庭開放、絵本貸出なども積極的に行い、来園のきっかけづくりをしています。</p>
<p>■中原区のセンター園としての機能を積極的に果たしています。</p> <p>地域子育て支援・民間連携・人材育成の中核的な役割を果たしています。地域の親子に向けた各種講座を行い専門職が地域の育児を支えています。また、保護者同士の交流も促進し、転入で知り合いが少ない家族が多い小杉地区の地域性に合った取り組みをしています。増加する民営保育園との連携では、顔の見える関係づくりに努め、公開保育や保育園実習を進め、園内研修オープン講座では民営保育園同士の繋がりをサポートしています。</p>

評価分類 (1) 地域との関係が適切に確保されている。		A
<p>① 園独自の地域に向けた情報は掲示版と園の入り口に設置しています。また、ホームページやアプリにも掲載して、利用者が情報をキャッチしやすくしています。子育て情報誌にも川崎市や中原区の子育てに関する情報を掲載し、地域に発信しています。園で行うハイハイ広場（おおむね1歳まで）ニコニコ広場（1歳以上）の開催、ベビーミミケロ（0歳児）、毎日の園庭開放、絵本貸出なども積極的に行い、来園のきっかけづくりをしています。</p> <p>② 母親クラブに向けた子育て講座、子育てサロンへの保育士派遣、民営保育園へのアドバイザー派遣、区役所研修会講師派遣など保育園に招くだけではなく、こちらから出向いていくことでの顔の見える関係作りを大切にしています。</p> <p>③ 定期的に行う子育て支援事業のスタッフとして、ボランティアを受け入れています。年度の初めに目的や事業説明を行い、当日の仕事内容を説明しています。市民の貴重な声として、参加の感想を毎回聞いて、今後の運営に活かしています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	地域社会に対して、開かれた組織となるよう、事業所に関する情報を開示している。	○
②	事業者が有する機能を地域に提供している。	○
③	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○

評価分類 (2) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		A
<p>① 中原区の公営保育園園長会、幼保小連絡会議、認可保育園長連絡会議、認可外保育園長連絡会、年長担当者会議、民生委員、主任児童委員との連絡会議などに出席しています。</p> <p>② 区役所、児童相談所、療育センター、保健福祉センターと連携しています。地域の子育て世代のニーズを活かして子育てサロンに保育士派遣を行っています。地域に開かれた保育園を日指しています。</p> <p>③ 関係機関との会議への出席、園庭開放時の参加者との会話、見学者との話し合い、区の保育総合支援担当の情報等を通じて、福祉ニーズを把握しています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	関係機関・団体との定期的な連絡会等に参画している。	○
②	地域の関係機関・団体の共通の課題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
③	地域の福祉ニーズを把握するため事業・活動に参加している。	○

<組織マネジメントに関する項目>

共通評価領域

7 職員の資質の向上の促進

■次世代の育成に力を入れています

公開保育をいつでも受け入れることで、研修、学びの場にしていきます。特に次世代の育成に力を入れ、独自の工夫として「次世代育成ストーリー」のマンガを作成し、それをツールにし、職員が共通認識しています。また、実習生の反省会をトークショー形式に変えることで実習生の本音をうまく引き出しています。センター園としてのスキルを高めるために川崎市こども未来局の他部署の仕事を学ぶ等視野を広げる試みを行い、未来の保育園作りをはじめています。

■管理者層は人材育成に力を注いでいます。

人事評価に関するマニュアルがあり、人事評価の目的が明記され職員も周知しています。職員との話し合いを重視する園長は、職員との年3回人事評価面談を、個人目標の設定、同時に職員の職務への振り返りの場として活用しています。園長とじっくり話し合うことで、職員が自分を見つめ直す場となっています。評価だけでなく職員の質をあげるために園内・園外の研修にも力を入れています。キャリアシートを用いて本人の希望を聞き、研修に参加できるようにしています。

■働き方改革に向けて職場環境を整備しています。

管理者層は、休暇の取得や、出勤退勤管理、時間外労働の把握、シフトの管理など行っています。休暇取得状況の把握を行い、休暇取得向上に向けて対応しています。

「働き方改革」をすすめ、職員が生き生きと働けるためにその日の様子を観察し常に声掛け等を励行しています。管理者層のリーダーシップの下、職員はコミュニケーションも良好で自由闊達な風通しの良い職場となっています。

評価分類 (1) 事業者が目指しているサービスを実現するための人材構成となるよう取り組んでいる。		A
<p>① 川崎市の保育基準や職員配置基準に沿って人材は配置されています。同時に園における職務分担を明確にし、人員体制について会議で確認しています。</p> <p>② 人材確保は市役所の規定により行われています。園長、保育士、看護師、兼務 栄養士、用務員、非常勤職員、臨時的任用職員がいます。</p> <p>③ 職員は川崎市の公務員として遵守すべき法令、規範、倫理について研修を受けています。また、園内でも服務規律の研修を定期的に行い職員への周知を図っています。</p> <p>④ 人事評価に関するマニュアルがあり、人事評価の目的が明記され職員も周知しています。園長と職員は年3回人事評価面談があり、園長は職員と話し合い個人目標の設定、同時に職員の職務への振り返りの場となっています。</p> <p>⑤ 実習生受け入れマニュアルがあり受け入れについての連絡窓口、事前説明、実習内容に関することなどの記載があり、それにそって保育士実習、看護師実習、高校生のインターン、中学生の職場体験等を含めて受け入れをしています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	必要な人材や人員体制に関する具体的な考え方が確立している。	○
②	具体的なプランに基づく人材の確保に取り組んでいる。	○
③	遵守すべき法令・規範・倫理等を正しく理解するための取組を行っている。	○
④	職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格など）が連動した人材マネジメントを行っている。	○
⑤	実習生の受入れと育成が積極的に行われている。	○

評価分類 (2) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		A
<p>① こども未来局運営管理課や、中原区保育 総合支援担当による階層別研修や課題別研修などの研修があります。職員の資質向上、専門性を高めるようにしています。</p> <p>② 園長と園長補佐は、キャリアシートを用いて本人の希望を聞き、研修に参加できるようにしています。運営管理課研修、中原区役所主催研修、他区の研修、キャリアアップ研修、研究会講演会、外部研修などに参加し、専門知識や技術の習得に努めています。</p> <p>③ 研修受講者は、園長へ研修報告を行い、同時に研修報告書を作成しています。今後のアドバイスをを行い、キャリア形成に繋げています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	○
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	○
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	○

評価分類		A
(3) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
<p>① 園長と園長補佐は、休暇の取得や、出勤退勤管理、時間外労働の把握、シフトの管理など行っています。休暇取得状況の把握を行い、休暇取得向上に向けて対応しています。「働き方改革」をすすめ、職員が生き生きと働けるために、データをチェックし声掛け等を行っています。</p> <p>② 市のイントラネットシステムやガイドブックから、福利厚生 of 情報を入手できます。同時に産業医による職場巡視も行われ健康相談を受けることができます。また、職員は市のカウンセラーによるメンタルケアも受診できます。職場には衛生担当者があり、職員の身体と心のケアについて学び、職場の環境改善に役立てています。毎日、職員同士が会話を交わし、健康状態のことをきちんと話せる職場の雰囲気を作っています。</p>		
評価項目		実施の可否
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○
②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	○

利用者アンケート結果(総評) (川崎市中原保育園)

1. 調査対象

利用者の保護者全員を対象とした。(1家族に複数利用者の場合は1件)

2. 調査方法

保育園より保護者にアンケート用紙を手渡し、記入後に封筒に入れ、保育園入り口に設置したアンケート用紙回収箱に入れてもらう。締め切り後、評価機関が回収した。

3. アンケート配布数及び回収数

利用者数：107 回収数：76 回収率：71%

4. コメント

アンケートの回収率は71%でした。多くの保護者は園の保育内容に満足をしていることが窺えます。

<サービスの提供>

どの項目も高い満足度でしたが、「子どもの状況に配慮された食事」、「落ち着いて過ごせる雰囲気」、「保育についての保護者との信頼関係」は極めて高い満足を得られています。施設の老朽化もあって、「十分な安全対策」は他項目に比べればやや満足度が低くなりますが、それでも84%の保護者は満足をしています。

<利用者個人の尊重>

「一人一人の子どもは大切にされている」の99%の満足度に比べれば、「プライバシーは守られているか」はやや低くなっていますが、86%は「はい」と回答しています。

<相談・苦情への対応>

「保護者の考えを聞く姿勢」は90%の満足度ですが、「要望や不満へのきちんとした対応」の満足度は70%でした。また、「外部の相談窓口相談できること」の認知はやや低く、28%が「いいえ」と回答しています。

<周辺地域との関係>

周辺地域との関係は円滑にすすめられていると、87%の保護者が回答しています。

<利用前の対応>

過去1年以内に利用を開始した方への設問の為、無回答が多くなっています。無回答を除くと78%の方が「説明は分かりやすかった」と回答していることとなります。